

2025年2月19日

報道関係各位

**EAGLYS がリコー主催の「TRIBUS Investors Day」に登壇。  
秘密計算を用いた新規プロダクトの共創案を発表。**



EAGLYS 株式会社

EAGLYS 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：今林広樹、以下 EAGLYS）は、株式会社リコー（社長執行役員：大山 晃）主催の「TRIBUS Investors Day」にて、TRIBUS 採択企業として登壇させていただきました。当イベントは、社内起業家とスタートアップ企業の成長を支援し、事業共創を目指す社内外統合型のアクセラレータープログラム「TRIBUS（トライバス）2024」の成果発表会です。2025年2月7日(金)に開催されました。

■ TRIBUS Investors Day について

本プログラムは、リコーグループ社員であれば誰でも応募できる社内起業家プログラムと、スタートアップからの応募を募るプログラムを統合した形で運用する、統合型アクセラレータープログラムです。6期目となる本年度は「好奇心を持って未知の世界に冒険する」をテーマに、リコー社内からは65件の応募がありました。

また社外に向けて、リコーグループ内から提示された5つの事業領域と、その他領域でビジネスアイデアを広く募集。過去最大となる172件の応募がありました。今回の「TRIBUS Investors Day」で発表したのは、2024年9月の統合ピッチを通過した社内起業家5チームと、EAGLYSを含むスタートアップ企業9社。新サービスの発表やプロトタイプによる実証実験結果など、事業の進捗状況や今後の展開について成果発表を行いました。スタートアップ企業は、リコーの事業部やグループ会社との協業／連携の活動状況や、最新の事業状況について発表。本イベントに協賛している企業から、協賛企業賞が与えられました。

## ■今回の結果／今後の動向

EAGLYS からは執行役員 プロダクト ヴァイスプレジデントの阿須間 麗が登壇。発表した内容は「プライバシー保護×データ活用技術で働く人に寄り添う 新規プロダクトの創出」です。TRIBUS チームとの密なディスカッションや、リコー人事部様へ現状の課題や人事施策のヒアリングなどを実施。その調査をふまえ、秘密計算でピープルデータを安全に扱える HR ソリューション EAGLYS Bianca と、リコー様のセンシング技術を掛け合わせた、新規プロダクトの共創案を発表させていただきました。

今回、惜しくも受賞を逃してしまいましたが、EAGLYS は TRIBUS 2024 への参加を通じて、EAGLYS Bianca の製品開発の方向性を再確認するとともに、市場ニーズをより深く理解する機会を得ることができました。今後もイベントでのコラボレーションや HR データ分析の実証実験、秘密計算活用の検討など、リコー様との人事領域における共創体制を継続し、EAGLYS Bianca の開発をアクセラレートしてまいります。



▲会場の様子

## ■EAGLYS 株式会社について

設立：2016年12月

本社：東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目27-3 やまとビル 7F

代表者：代表取締役社長 今林広樹

事業内容：EAGLYS は、安全なデータ活用を実現する秘密計算技術と最先端 AI 技術とを掛け合わせた、データセキュリティ／データ利活用支援／AI 設計・開発の事業を展開する企業です。業界各社の秘匿データ収集から AI・データ活用を支えるアプリケーション基盤の開発と、それを実現する要素技術の応用研究が強みです。『世の中に眠るデータをつなぐハブとなり、集合知で社会をアップデートする』というビジョンの下、様々なお客様の AI ならびにデータのコラボレーション促進を支援しております。

<https://www.eaglys.co.jp>

【本リリースに関するお問い合わせ先】

EAGLYS 株式会社 広報担当

pr@eaglys.co.jp